

ポーケン基準(繊維製品) 生地・製品検査 品質基準一覧表 ◇抜粋◇

◎:必須項目、○:素材・用途により実施

原則として、染色堅ろう度・ホルムアルデヒドは全色、混用率・物性試験・寸法変化率・製品検査(ホルムアルデヒド除く)は各品番、各デザイン、各素材ごとに代表一点実施する

試験のご依頼は、最寄りの事業所・検査所まで

www.boken.or.jp

試験項目		試験方法・条件		判定基準		判定基準		判定基準		判定基準		備考		
				紳士服		婦人・子供服		シャツ・ブラウス類		セーター類				
混用率(繊維鑑別)		JIS L 1030		◎	---	◎	---	◎	---	◎	---	表示対象品に適用 繊維鑑別で適当な場合は繊維鑑別でも可 合否判定より除外		
染色堅ろう度	耐光	級以上	JIS L 0842 第3露光法	◎	4(3)	◎	4(3)	◎	3	◎	3	()は淡色に適用 蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外		
	洗濯	級以上	JIS L 0844 A-1・A-2号	変退色	4	○	4	○	4	○	4	○	水洗い・ウエット表示品に適用 蛍光増白剤の着色による変色は合否判定より除外(注1)	
				汚染	3-4(3)[4]	○	3-4(3)[4]	○	3[4]	○	3-4[4]	○	()はデニムに適用 []は濃淡組合せ品に適用	
				ブリード	4-5		4-5		4-5		4-5		【参考】洗液汚染3級以上(注2)	
	汗	級以上	JIS L 0848 酸性 アルカリ性	変退色	4		4		4		4		()は毛・絹50%以上に適用	
				汚染	3-4(3)[4]	◎	3-4(3)[4]	◎	3(2-3)[4]	◎	3-4(3)[4]	◎	[]は濃淡組合せ品に適用	
				ブリード	4-5		4-5		4-5		4-5			
	摩擦	級以上	JIS L 0849 II形	◎	4(3-4)<3> 2-3(2)<1-2>	◎	4(3-4)<3> 2-3(2)<1-2>	◎	4(3-4)<3> 2-3(2)<1-2>	◎	4(3-4) 2-3(2)	()は特殊プリント・起毛品・濃色品に適用 <>はデニム・別珍・コール天に適用		
	ドライクリーニング	級以上	JIS L 0860 A-1法(パークロ) B-1法(石油系)	変退色	4		4		4		4		ドライ表示品に適用	
				汚染	3-4[4]	○	3-4[4]	○	3-4[4]	○	3-4[4]	○	[]は濃淡組合せ品に適用	
ブリード				4-5		4-5		4-5		4-5		【参考】洗液汚染3級以上(注2)		
酸素系漂白剤	級以上	JIS L 0889	◎	4		4		4		4	水洗い品に適用			
色泣き(ブリード)	級以上	大丸I法	○	4-5	○	4-5	○	4-5	○	4-5	濃淡組合せ品に適用			
汗耐光	級以上	JIS L 0888 B法 ATTS汗液 酸性・アルカリ性	◎	3		3	○	3		3	セルロース系繊維50%以上のスポーツ用品・帽子に適用			
生地検査	引張強度	N以上	JIS L 1096 A法(ストリップ法)		250(200)		200(150)		200(150)		---	織物に適用 ()は薄地に適用		
	引裂強度	N以上	JIS L 1096 D法(ベンジュラム法)	○	13(10)	○	10(7)	○	10(7)		---	織物に適用 ()は薄地に適用		
	破裂強度	kPa以上	JIS L 1096 A法(ミューレン形法)	○	400(300)	○	400(300)	○	400(300)	○	400(300)	編物に適用 ()は薄地に適用		
	滑脱抵抗力	mm以下	JIS L 1096 縫目滑脱B法	○	3	○	3	○	3		---	織物に適用 荷重:厚地117.7N 薄地49.0N		
	ピリング	級以上	JIS L 1076 A法(ICI形法)		3		3		3		3(2.5)	織物は10H 編物は5H ()は起毛・紡毛生地に適用		
	バイル保持性	%以上	JIS L 1075 A法(ユニバーサル形法)	○	60	○	60	○	50		---	別珍・コール天に適用		
	はっ水度	級以上	JIS L 1092 スプレー法		2/2	○	2/2		---		---	はっ水性表示品に適用		
	耐水度	mm以上	JIS L 1092 静水圧法A法(低水圧法)		300		300		---		---	レインウェア・おむつカバー・防水シーツなどの寝具に適用		
	通気性	cm ² /cm ² ・s以下	JIS L 1096 A法(フラジール形法)		3		3		---		---	羽毛使用品に適用		
					5		5		---		---	羊毛・合繊などの中わた使用品に適用		
	中わた吹出し	ポーケン規格 BQE A 012		○	認められる(目立たない)	○	認められる(目立たない)		---		---	羽毛・羊毛・合繊などの中わた使用品に適用		
	表面フラッシュ		JIS L 1917	フラッシュ炎	なし・10cm未満		なし・10cm未満		なし・10cm未満		なし・10cm未満		セルロース系繊維 合格	
					あり・10~20cm未満		あり・10~20cm未満	○	あり・10~20cm未満		あり・10~20cm未満		50%以上で表面が	要注意(不合格)デメリット表示要
					あり・20cmで1秒以上		あり・20cmで1秒以上		あり・20cmで1秒以上		あり・20cmで1秒以上		起毛品に適用	要注意(不合格)デメリット表示要
	毛羽付着	級以上	ポーケン規格 BQE B 014	○	3	○	3	○	3	○	3	起毛品・モール糸・獣毛混用品に適用		
摩擦強さ	回以上	JIS L 1096 E法(マーチンデール法)	厚地	20,000		20,000		20,000		---	---	毛素材に適用		
			薄地	10,000		10,000		10,000		---	---			
家庭洗濯法	%以内	JIS L 1930 洗濯:取扱い表示通り 未定の場合はC4M法 乾燥:取扱い表示通り 未定の場合はタンブル優先	吊干し	織物	○	-4~+2※	○	-4~+2※	○	-4~+2※		---	水洗い表示品に適用	
				編物	たて	○	-5~+2	○	-5~+2	○	-6~+2	○	-6~+2	※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外
			タンブル	たて	○	-5~+2※	○	-5~+2※	○	-7~+2※	○	-7~+2※		ただし、外観変化が著しいものは不合格とする
				よこ	○	-5~+2※	○	-5~+2※	○	-5~+2※		---		
				たて	○	-8~0	○	-8~0	○	-8~0	○	-8~0		
				よこ	○	-10~0※	○	-10~0※	○	-10~0※	○	-10~0※		
平干し	たて	○	-7~+2	○	-7~+2	○	-7~+2	○	-7~+2					
	よこ	○	-8~+2※	○	-8~+2※	○	-8~+2※	○	-8~+2※					
ドライクリーニング法	%以内	JIS L 1096 J-1・J-2法	織物	○	±3※	○	±3※	○	±3※		---	ドライ表示品に適用(水洗い表示品は省略可)		
			編物	○	±3※	○	±3※	○	±3※	○	±3※	※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外		
ウエットクリーニング法	%以内	JIS L 1931-4	織物	○	±3※	○	±3※	○	±3※		---	ウエット表示品に適用(水洗い表示品は省略)		
			編物	○	±3※	○	±3※	○	±3※	○	±3※	※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外		

注1: 蛍光増白剤の染色による変色が3-4級以下の場合は、「無蛍光洗剤使用」等のデメリット表示をつけること

注2: 【参考】は合否判定から除外する

ボーケン基準(繊維製品) 生地・製品検査 品質基準一覧表 ◇抜粋◇

◎:必須項目, ○:素材・用途により実施

試験のご依頼は、最寄りの事業所・検査所まで

原則として、染色堅牢度・ホルムアルデヒドは全色、混用率・物性試験・寸法変化率・製品検査(ホルムアルデヒド除く)は各品番、各デザイン、各素材ごとに代表一点実施する

www.boken.or.jp

試験項目		試験方法・条件		判定基準		判定基準		判定基準		備考					
				紳士服		婦人・子供服		シャツ・ブラウス類			セーター類				
特定芳香族アミン	組成表示	μg/g (mg/kg) 以下	<繊維製品> 改正厚生省令第34号又は JIS L 1940-1&-3、ISO24362-1&-3 <皮革製品> 改正厚生省令第34号 又はISO17234-1&-2	○	30	○	30	○	30	○	30	法規制品に適用 特定芳香族アミン24物質			
	品質表示	組成表示	家庭用品品質表示法	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること	サイズ表示は、合否判定から除外する			
	取扱い表示	家庭用品品質表示法	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること					
	サイズ表示	JIS規格等	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること					
	原産国表示	不当景品類及び不当表示防止法	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること	◎	適正であること					
外観	外観・縫製	ボーケン縫製検査基準		◎	基準に適合していること	◎	基準に適合していること	◎	基準に適合していること	◎	基準に適合していること				
耐洗濯性	外観・縫製			○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	水洗い表示品に適用			
	変退色	級以上		○	4	○	4	○	4	○	4				
	ブリード	級以上		○	4-5	○	4-5	○	4-5	○	4-5				
	パッカリング	級以上		○	3	○	3	○	3	○	3				
	洗濯後の斜行度	%以下		○	7(5)	○	7(5)	○	7(5)	○	7(5)				
	寸法変化率	%以内	JIS L 1930 洗濯:取扱い表示通り 乾燥:取扱い表示通り (タンブル優先)	吊干し	織物	○	-3~+1%	○	-3~+1%	○	-4~+1% (±1.5)	○	---	()はスリット・前割れ・たて方向に柄等があるものに適用 ※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外 ただし、外観・着用に支障があるものは不合格とする < >はドレスシャツの衿回りに適用	
					編物	たて	○	-4~+2	○	-4~+2	○	-6~+2	○		-6~+2
					よこ	○	-5~+2%	○	-5~+2%	○	-7~+2%	○	-7~+2%		
					タンブル	織物	○	-5~+2%	○	-5~+2%	○	-5~+2% (±1.5)	○		---
					編物	たて	○	-8~0	○	-8~0	○	-8~0	○		-8~0
					よこ	○	-10~0%	○	-10~0%	○	-10~0%	○	-10~0%		
	平干し	編物	たて	○	-7~+2	○	-7~+2	○	-7~+2	○	-7~+2				
よこ	○	-8~+2%	○	-8~+2%	○	-8~+2%	○	-8~+2%	○	-8~+2%					
耐洗濯性	外観変化			○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	特殊プリント(顔料、ラバー、転写、発泡、ラメ等)、コーティング、フロッキー、ボンディング等に適用			
	変退色	級以上	JIS L 1930 C4M法 吊干し	1回後	○	4	○	4	○	4					
	ブリード	級以上		5回後	○	3	○	3	○	3					
耐ドライクリーニング性	外観・縫製			○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	ドライ表示品に適用(水洗い表示品は省略可)			
	変退色	級以上		○	4	○	4	○	4	○	4				
	ブリード	級以上		○	4-5	○	4-5	○	4-5	○	4-5				
	パッカリング	級以上	JIS L 1931-2 P2法 JIS L 1931-3 F2法	○	3	○	3	○	3	○	3				
	洗濯後の斜行度	%以下		○	5(3)	○	5(3)	○	5(3)	○	5(3)				
	寸法変化率	%以内		織物	○	±3%	○	±3%	○	±3%	○	---			
編物	○	±3%	○	±3%	○	±3%	○	±3%	○	±3%					
耐洗濯性	外観変化			○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	ドライ表示の特殊プリント(顔料、ラバー、転写、発泡、ラメ等)、コーティング、フロッキー、ボンディング等に適用			
	変退色	級以上	JIS L 1931-2 P2法 JIS L 1931-3 F2法	1回後	○	4	○	4	○	4					
	ブリード	級以上		3回後	○	3	○	3	○	3					
耐ウエットクリーニング性	外観・縫製			○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	○	異常がないこと	ウエット表示品に適用(水洗い表示品は省略)			
	変退色	級以上		○	4	○	4	○	4	○	4				
	ブリード	級以上		○	4-5	○	4-5	○	4-5	○	4-5				
	パッカリング	級以上	JIS L 1931-4 取扱い表示通り	○	3	○	3	○	3	○	3				
	洗濯後の斜行度	%以下		○	5(3)	○	5(3)	○	5(3)	○	5(3)				
	寸法変化率	%以内		織物	○	±3%	○	±3%	○	±3%	○	---	()はスリット・前割れ・たて方向に柄等があるものに適用 ※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外 ただし、外観・着用に支障があるものは不合格とする		
編物	○	±3%	○	±3%	○	±3%	○	±3%	○	±3%					
耐アンイ	外観		JIS L 1057.8.1準用 試験温度は取扱い表示通り		異常がないこと		異常がないこと		異常がないこと		異常がないこと				
	変退色	級以上			4		4		4		4				
子ども用衣料に附属するひもの要求事項		JIS L 4129		---		適合していること		適合していること		適合していること	子ども用衣料(年少及び年長)に適用				

アイテム	主な品目
紳士服	コート、スーツ、ジャケット、ブルゾン、ジャンパー、パンツ類など
婦人・子供服	コート、スーツ、ジャケット、ブルゾン、ジャンパー、ワンピース、パンツ類、スカートなど
織物・シャツ・ブラウス類	カジュアルシャツ、ドレスシャツ、ブラウス、スポーツシャツ、ポロシャツ、Tシャツ、トレーナーなど
セーター類	セーター・カーディガン・ベストなど

アイテム	主な品目
寝衣・肌着類	パジャマ、ネグリジェ、肌着、ランジェリー、ファンデーションなど
ベビー衣料・小物類	ベビー衣料(外衣、中衣、肌着など)、小物類(タオル、スタイ、ミトン、靴下など)
洋品・小物類	タオル、バスタオル、ハンカチ、マフラー、スカーフ、ネクタイ、靴下類、手袋、帽子など
寝具・インテリア類	寝具類(シーツ・カバー類、毛布、タオルケット、ふとん類、ベビー寝具など)、インテリア類(カーテン、カーペット、ラグ、バスマットなど)

ボーケン基準(繊維製品) 生地・製品検査 品質基準一覧表 ◇抜粋◇

◎:必須項目、○:素材・用途により実施

原則として、染色堅牢度・ホルムアルデヒドは全色、混用率・物性試験・寸法変化率・製品検査(ホルムアルデヒド除く)は各品番、各デザイン、各素材ごとに代表一点実施する

白・生成は耐光堅ろう度試験のみ試験実施

試験のご依頼は、最寄りの事業所・検査所まで

www.boken.or.jp

試験項目		試験方法・条件		判定基準		判定基準		判定基準		判定基準		備考				
				寝衣・肌着類	◎	---	◎	---	◎	---	◎		---			
混用率(繊維鑑別)		JIS L 1030		◎	---	◎	---	◎	---	◎	---	表示対象品に適用 繊維鑑別で適当な場合は繊維鑑別でも可 合否判定より除外				
染色堅牢度	耐光	級以上	JIS L 0842 第3露光法	◎	3*	◎	3*	◎	3*	◎	3<<カーテン4>>	蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 *肌着・ランジェリー・ファンデーション・靴下類は試験除外				
	洗濯	級以上	JIS L 0844 A-1・A-2号	変退色	4	◎	4	◎	4	◎	4	4	水洗い・ウエット表示品に適用 蛍光増白剤の染着による変色は合否判定より除外(注1)			
				汚染	3[4]	◎	3[4]	◎	3[4]	◎	3[4]	◎	3[4]	[]は濃淡組合せ品に適用		
				ブリード	4-5	◎	4-5	◎	4-5	◎	4-5	◎	4-5	【参考】洗液汚染3級以上(注2)		
	汗	級以上	JIS L 0848 酸性 アルカリ性	変退色	4	◎	4	◎	4	◎	4	4	4	*寝具類に適用		
				汚染	3(2-3)[4]	◎	3(2-3)[4]	◎	3(2-3)[4]	◎	3(2-3)[4]	◎	3(2-3)[4]	()は毛・絹50%以上に適用		
				ブリード	4-5	◎	4-5	◎	4-5	◎	4-5	◎	4-5	[]は濃淡組合せ品に適用		
	摩擦	級以上	JIS L 0849	II形	乾燥	4(3-4)	◎	4(3-4)<3>	◎	4(3-4)<3>	◎	4(3-4)<3>	4(3-4)<3>	()は特殊プリント・起毛品・濃色品に適用		
					湿潤	2-3(2)	◎	2-3(2)<1-2>	◎	2-3(2)<1-2>	◎	2-3(2)<1-2>	◎	2-3(2)<1-2>	<>はデニム・別珍・コール天に適用	
	ドライクリーニング	級以上	JIS L 0860 A-1法(パークロ) B-1法(石油系)	変退色	4	◎	4	◎	4	◎	4	4	ドライ表示品に適用			
汚染				3-4[4]	◎	3-4[4]	◎	3-4[4]	◎	3-4[4]	◎	3-4[4]	[]は濃淡組合せ品に適用			
酸素系漂白剤	級以上	JIS L 0889	変退色	4	◎	4	◎	4	◎	4	4	【参考】洗液汚染3級以上(注2)				
色泣き(ブリード)	級以上	大丸I法	汚染	4-5	◎	4-5	◎	4-5	◎	4-5	4-5	濃淡組合せ品に適用				
汗耐光	級以上	JIS L 0888 B法 ATTS汗液 酸性・アルカリ性	変退色	---	◎	---	◎	3	◎	---	---	セルロース系繊維50%以上のスポーツ用品・帽子に適用				
生地検査	引張強度	N以上	JIS L 1096 A法(ストリップ法)		200(150)		150	◎	<120>	◎	150<120>	織物に適用 ()は薄地に適用 <>は毛布・タオル地製品に適用				
	引裂強度	N以上	JIS L 1096 D法(ベンジュラム法)	◎	10(7)	◎	7*	◎	10(6)*	◎	10(7)*	織物に適用 ()は薄地に適用 *タオル地製品は試験除外				
	破裂強度	kPa以上	JIS L 1096 A法(ミュールン形法)	◎	400(300)	◎	300	◎	400(300)	◎	400(300)	編物に適用 ()は薄地に適用				
	滑脱抵抗力	mm以下	JIS L 1096 縫目滑脱B法	◎	3	◎	3	◎	3	◎	3	織物に適用 荷重:厚地117.7N 薄地49.0N				
	ピリング	級以上	JIS L 1076 A法(ICI形法)		3(2.5)		3		---		3(2.5)	織物10H 編物は5H ()は起毛・紡毛生地に適用				
	パイル保持性	%以上	JIS L 1075 A法(ユニバーサル形法)		---	◎	50	◎	50	◎	60	60	別珍・コール天に適用			
		N以上	JIS L 1075 B法(引張試験機法)		---	◎	---	◎	1	◎	1	1	タオル地製品(ループパイル織物)に適用			
	はっ水度	級以上	JIS L 1092 スプレー法	初期/処理後	---	◎	2/2		---		---	---	はっ水性表示品に適用			
	耐水度	mm以上	JIS L 1092 静水圧法A法(低水圧法)		---		200		---		300	300	レインウェア・おむつカバー・防水シートなどの寝具に適用			
	通気性	cm ³ /cm ² ・S 以下	JIS L 1096 A法(フラジール形法)		---		3		---	◎	3	3	羽毛使用品に適用			
					---		5		---		5	5	羊毛・合繊などの中わた使用品に適用			
	中わた吹出し		ボーケン規格 BQE A 012		---	◎	認められる(目立たない)		---	◎	認められる(目立たない)	羽毛・羊毛・合繊などの中わた使用品に適用				
	毛羽脱落量	%以下	ボーケン規格 BQE A 013		---	◎	---	◎	0.2	◎	0.2	0.2	タオル地製品・バスマット類・水洗いできるカーペットに適用			
	表面フラッシュ		JIS L 1917	フラッシュ炎	なし・10cm未満	◎	---	◎	---	◎	---	◎	---	セルロース系繊維 合格		
					あり・10~20cm未満	◎	---	◎	---	◎	---	◎	---	50%以上で表面が 要注意(不合格)デメリット表示要		
あり・20cmで1秒以上					◎	---	◎	---	◎	---	◎	---	起毛品に適用 要注意(不合格)デメリット表示要			
毛羽付着	級以上	ボーケン規格 BQE B 014		3	◎	3	◎	3	◎	3	3	起毛品・モール糸・獣毛混用品に適用				
摩擦強さ	回以上	JIS L 1096 F-1法(ユニホーム形法)		---		---	◎	500		---	---	靴下に適用				
吸水性	秒以内	JIS L 1907 沈降法		---		---	◎	60	◎	60	60	パイルのあるタオル類・バスマット類に適用 【参考】60秒をこえた場合、C4M法吊干し1回処理後のデーターを付記する(注2)				
	秒以内	JIS L 1907 滴下法		---		---	◎	10	◎	10	10	パイルのないタオル類・バスマット類に適用 【参考】10秒をこえた場合、C4M法吊干し1回処理後のデーターを付記する(注2)				
家庭洗濯法	%以内	JIS L 1930 洗濯:取扱い表示通り 未定の場合は C4M法 乾燥:取扱い表示通り 未定の場合は タンブル優先	吊干し	織物	◎	-5~+2※	◎	-4~+2※	◎	-5~+2※	◎	-5~+2	水洗い表示品に適用			
				編物	たて	◎	-6~+2	◎	-6~+2	◎	-6~+2	◎	-6~+2	※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外		
					よこ	◎	-8~+2※	◎	-8~+2※	◎	-8~+2	◎	-8~+2	ただし、外観変化が著しいものは不合格とする		
			タンブル	織物	◎	-6~+2※	◎	-6~+2※	◎	-6~+2※	◎	-6~+2	◎	-6~+2		
				編物	たて	◎	-8~0	◎	-8~0	◎	-8~0	◎	-8~0	◎	-8~0	
					よこ	◎	-10~0※	◎	-10~0※	◎	-10~0※	◎	-10~0	◎	-10~0	
平干し	編物	◎	-7~+2	◎	-7~+2	◎	-7~+2	◎	-7~+2	◎	-7~+2					
	よこ	◎	-8~+2※	◎	-8~+2※	◎	-8~+2※	◎	-8~+2	◎	-8~+2					
ドライクリーニング法	%以内	JIS L 1096 J-1・J-2法	織物	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3	±3	ドライ表示品に適用(水洗い表示品は省略) ※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外			
			編物	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3	±3	ただし、外観変化が著しいものは不合格とする			
ウエットクリーニング法	%以内	JIS L 1931-4	織物	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3	±3	ウエット表示品に適用(水洗い表示品は省略) ※よこ方向に回復力がある生地(ゴム編・クレープ等)は合否判定より除外			
			編物	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3※	◎	±3	±3	ただし、外観変化が著しいものは不合格とする			

注1: 蛍光増白剤の染着による変色が3-4級以下の場合は、「無蛍光洗剤使用」等のデメリット表示をつけること

注2: 【参考】は合否判定から除外する

